

第一回 「日本栄養改善学会若手の会」世話人会 議事録

2005年10月5日(水)

文責：丸山

日時：平成17年9月16日(金) 15時～17時

場所：日本栄養改善学会事務局

出席者：池本真二、赤堀摩弥、市育代、牛込恵子、影山なお子、野口孝則、丸山智美(7名)

1、世話人会のメンバー紹介&自己紹介

池本真二先生(お茶の水女子大学 助教授・臨床栄養学研究室)

赤堀摩弥さん(静岡県熱海健康福祉センター・行政)

市育代先生(奈良女子大学生生活環境学部 助手)

牛込恵子 (昭和女子大学大学院 博士後期課程1年)

影山なお子さん(パルマローザ主催)

野口孝則先生(神戸学院大学栄養学部 講師)

丸山智美先生(金城学院大学生生活環境学部 助教授)

中村和照さん(石川県南加賀保健福祉センター・行政)

森 智美さん(シダックス株式会社 名古屋通信病院)

の計9名で進める。

2、「日本栄養改善学会若手の会」の主旨

○目的&PRポイント→「科学的根拠に基づいた栄養実践活動」

(EBM～研究に活かせるように考える方向に)

- ・分野としては→世代間の交流を重視したいので、限定しない。
- ・範囲→全国的な組織にしていく。(地域の単発組織ではなく、幅広い組織にしていく)
栄養改善学会の組織にしていく。
- ・年齢→若手というくらいなので、上限を決める必要性がある。
Ex.)栄養食糧学会は、40歳以下にしている。(40歳ラインが妥当では?)
⇒結論：人材が集まるまでは年齢の上限は決めず、ある程度起動に乗ってから、
年齢の定義を決定する方向にする。
- ・会費→年会費：正会員2000円、学生会員1000円を予定
- ・新たに加えたいこと(提案・意見)
 - ①気軽に入れる。

- ②透明感のあるクリアな団体。
- ③「日本栄養改善学会」に入会していない人でも入会できる。
- ④栄養士に限定しなく、他の職種との連携をもてる団体にする。
- ⑤世代間（縦）のつながりを意識したい。（コミュニケーションを図る）
- ⑥院生と現場との集いをもちたい。（院生も気軽に入会してほしい）

3、役員分担

代表：丸山 智美

副代表：野口 孝則

事業：赤堀 摩弥、牛込 恵子（2名）＋欠席者1名

広報：影山なお子、市 育代（2名）＋欠席者1名

書記：特になし（持ち回りで・・・）

会計：市 育代、北森 一哉（金城学院大学助手）

HP：野口 孝則

〔係りの役割〕

総務：会員名簿の管理など

事業：夏季セミナー、研究会などの運営・企画

広報：学会誌や雑誌におけるPR活動、記事掲載など

書記：世話人会の議事録作成

HP：HPの立ち上げ、作成

4、決定事項

- ①「日本栄養改善学会若手の会」の事務局は、会の代表である丸山先生の研究室に置くこととする。

→〒465-8521 名古屋市守山区大森 2-1723

金城学院大学 生活環境学部 食環境栄養学科 丸山研究室内

日本栄養改善学会若手の会 世話人代表：丸山 智美

TEL:052-798-0180 (ex. 351) FAX:052-798-0370 E-mail:maruyama@kinjo-u.ac.jp

- ②今年度の第52回栄養改善学会学術総会で、「若手の会」発足を報告し、学会会場で「若手の会」のチラシを置かせていただく。

（その際、入会案内も加え、FAXで事務局へ提出するようにする）

（文章の作成は池本先生、野口先生にお任せする）

- ③世話人会の人数を増やす。（近隣に声をかける）